

別紙

国立大学法人広島大学東広島団地温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東広島団地

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市鏡山1丁目3番2号

(3) 業種

大学 8161

2 計画の期間

本計画期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、平成26(2014)年度から平成28(2016)年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 延床面積 m²

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成25年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成28年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	0.0987	0.0958 3.0	0.0906 8.20				
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量	0.0987	0.0958 3.0	0.0906 8.20				
エネルギー消費原単位(原油換算kl)	0.03427	0.03325 3.0	0.03226 5.87				
実績に対する自己評価	大型建物改修工事に合わせて、可能な限りの省エネ機器類の導入及び旧式の空調機及び変圧器の高効率型への更新を行い、エネルギー消費量削減及びCO ₂ 排出量の削減を推進した。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	改修工事に合わせて暖房負荷であるボイラー熱源を電気に転換し、前年度比約19.2%（原油換算値）の削減となった。	ボイラー運転管理の適正化 講義室等の暖房熱源の電気への転換
2	電気使用量の削減	積極的な省エネ機器導入を実施し、前年度比約4.5%（原油換算値）の削減となった。	年次計画による旧式の空調機の高効率型への更新。 工学部建物改修に伴う照明器具のLED化、高効率照明器具への更新。 変圧器を高効率型へ更新 不要電力の徹底したカットと空調設定温度の徹底。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	省エネ推進活動		各部局等への省エネポスターの配布による省エネ意識高揚と実施対応。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。